

岩手県感染症週報

平成20年 42週号外

岩手県感染症情報センター

インフルエンザ、2007/08シーズン特集

インフルエンザ、2007/08シーズンの概要

- ・岩手県内における2007/08シーズンのインフルエンザの流行は、12月中旬から始まり、3月中旬に終息しました。流行のピークは、1月中旬から2月上旬でした。
- ・5から9歳の患者の割合が、例年より多くなりました。
- ・流行の主流となったインフルエンザウイルスは、Aソ連型でした。

流行期間と規模

2007/08シーズンのインフルエンザは、2007年第50週（12/10-12/16）から流行が始まり、年末年始をはさみ、第5週（1/28-2/3）の定点あたり患者数38.5人をピークに減少しました（図1）。

2007/08シーズンを過去7シーズンと比較すると、流行の始まりは2番目に早く、ピークの週は、2005/06シーズンと並んで最も早くなりました。また、ピークの高さは、2004/05シーズンに次いで2番目でした。

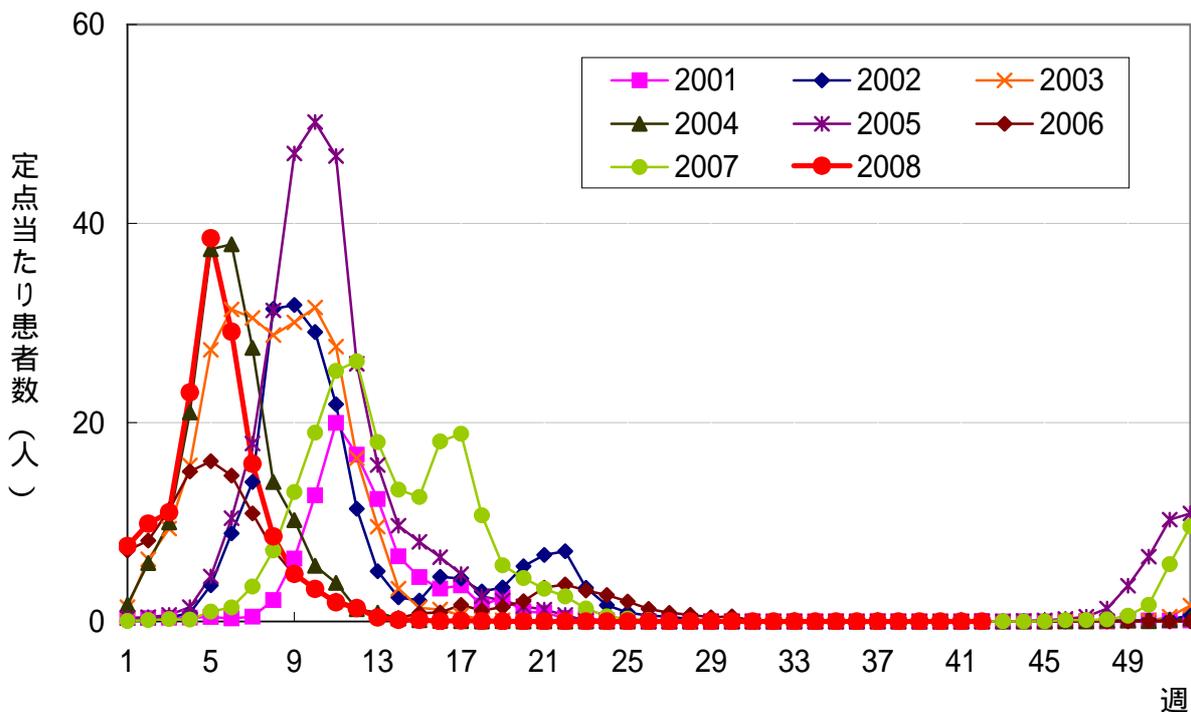


図1 インフルエンザの年別・週別発生状況、岩手県 (2001年第1週～2008年第42週)

地区別では、全ての地区で流行期間中に注意報値（定点あたり患者数10人）を超えました。また、花巻、北上、奥州、大船渡、久慈および二戸地区では、警報値（同30人）を超えました（図2）。特に、花巻、北上、奥州および二戸地区の、ピーク時の定点あたり患者数は、50人を超え、大きな流行となりました。

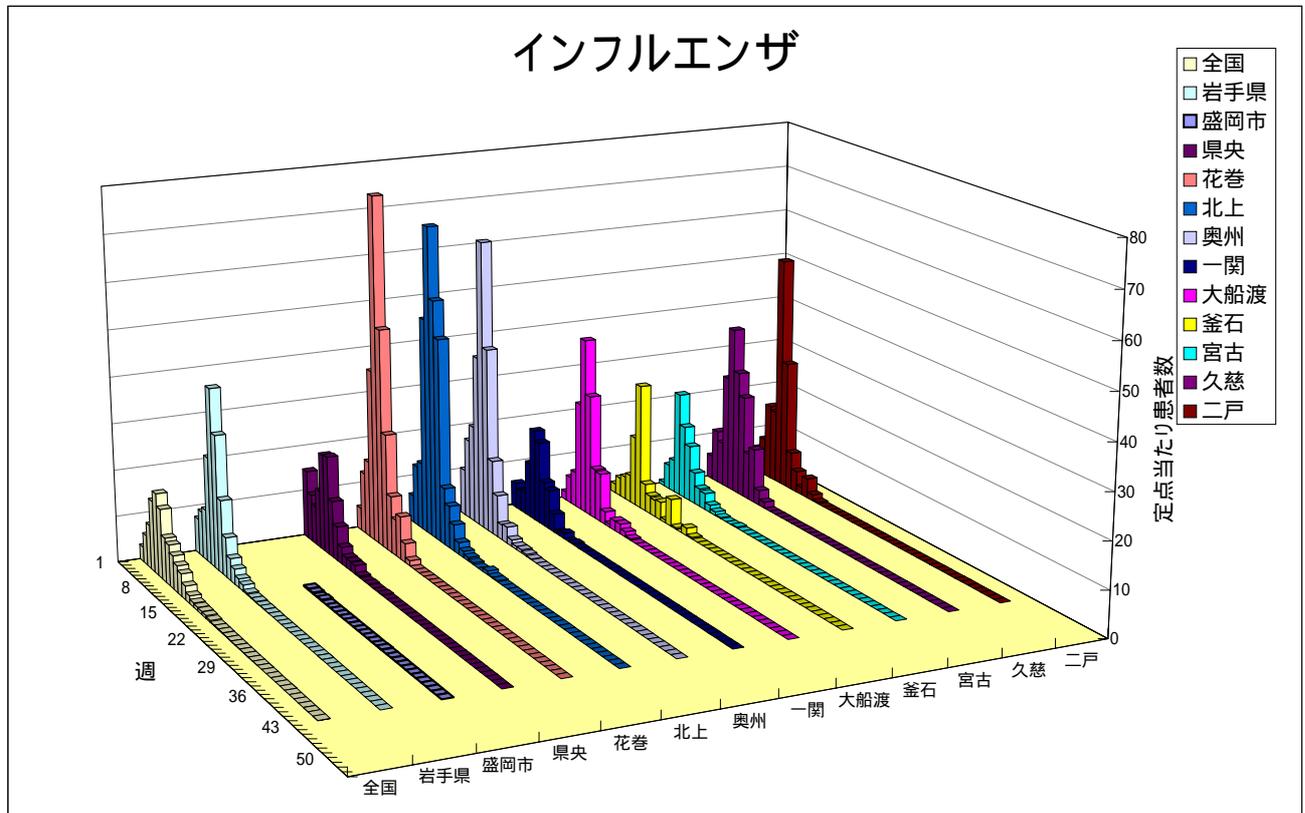


図2 インフルエンザの地区別発生状況、岩手県
(2008年第1週～第42週)

インフルエンザウイルス

岩手県環境保健研究センターでは、2007年12月から3月までに、AH1亜型（Aソ連型）39株、AH3亜型（A香港型）1株およびB型2株をそれぞれ分離しました。AH1亜型は12月から3月まで、AH3亜型およびB型は2月および3月にそれぞれ分離検出されました（図3）。AH1亜型が流行の主流となったのは、2001/02シーズン以来となりました。

分離したウイルス株は赤血球凝集抑制反応試験により抗原解析が行われました。AH1亜型は、39株中4株はワクチン株と類似していましたが、35株はワクチン株から抗原性が変異していました。

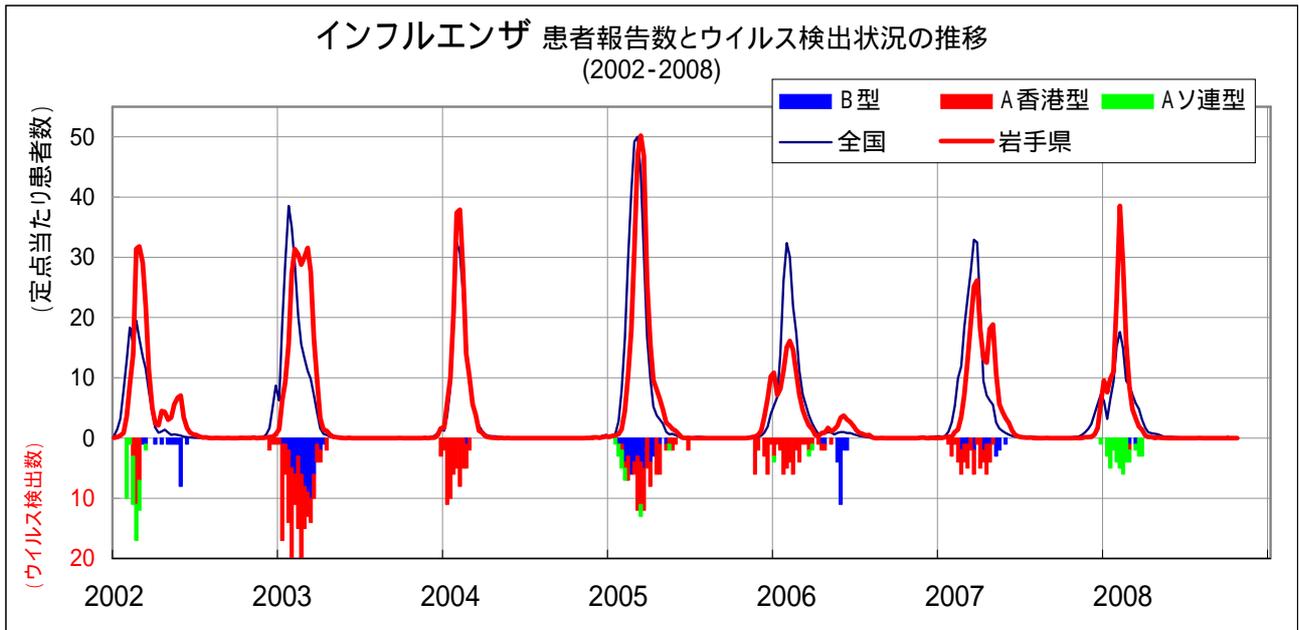


図3 インフルエンザ患者報告数及びインフルエンザウイルス分離状況、岩手県

患者年齢層

2007/08シーズンのインフルエンザの患者年齢層は、5～9歳の37.5%が最多で、次いで0～4歳（22.8%）であり、9歳以下の患者が約60%を占めました（図4）。過去のシーズンに比べて、5～9歳の割合が多くなりました。

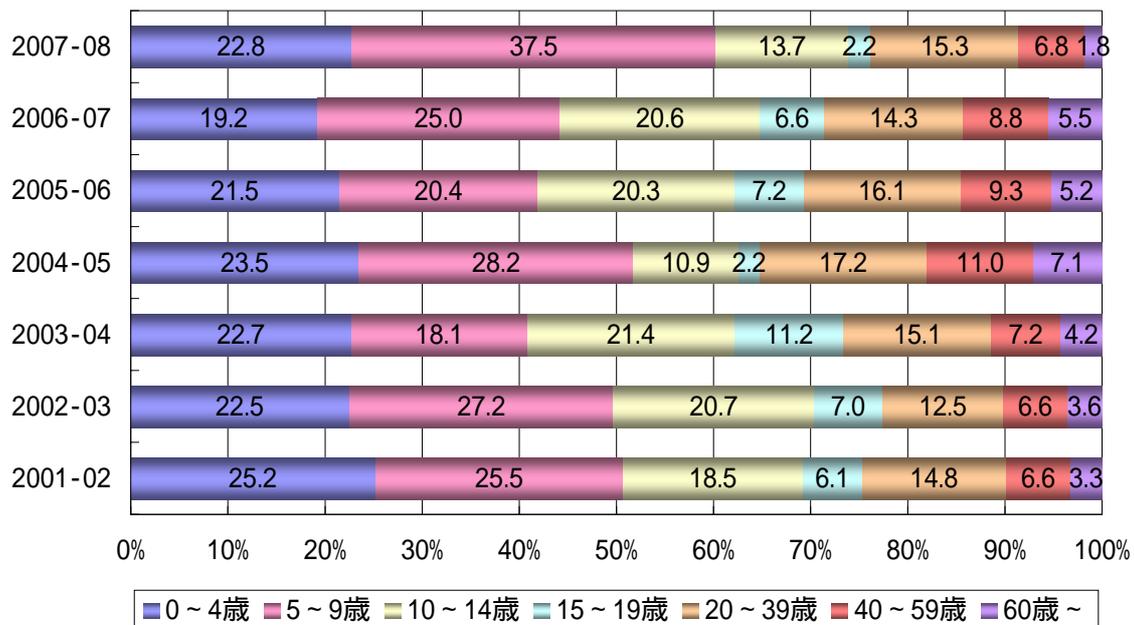


図4 インフルエンザ患者年齢分布（2000/01～07/08シーズン）、岩手県

施設閉鎖等

施設閉鎖等は、11月から3月までに106件が報告され、そのうち67件は、第5週（1/28～2/3）および第6週（2/4～10）に報告されました。施設の内訳は、小学校が78件、保育所・幼稚園、中学校がそれぞれ13件、高校が2件でした。

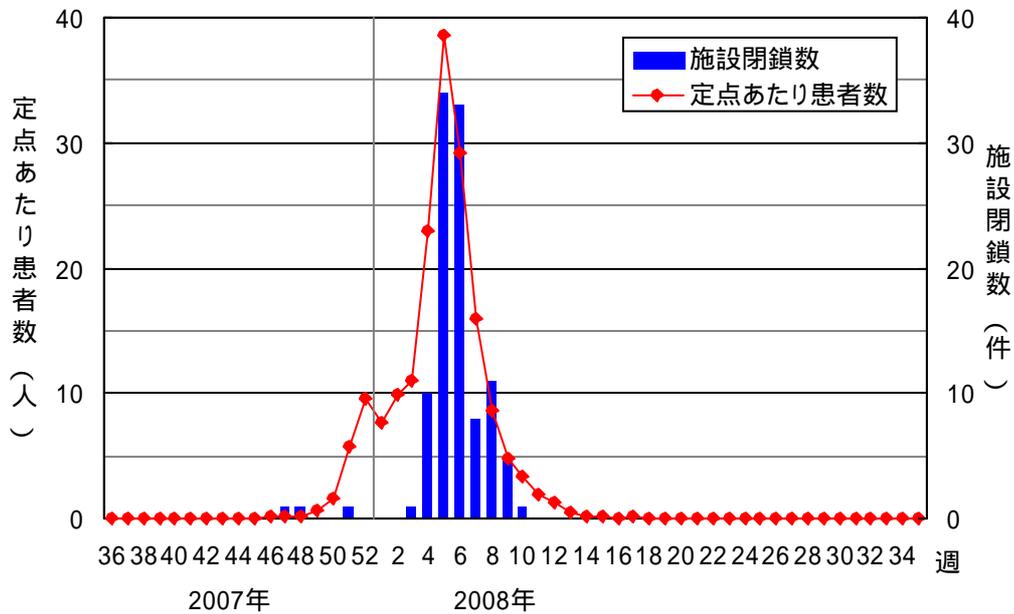


図5 インフルエンザの定点あたり患者数および施設閉鎖数、2007年36週～2008年35週、岩手県



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/maimagazine.html>

岩手県感染症週報 平成20年第42週号外 平成20年10月24日発行
 監修：岩手県感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>